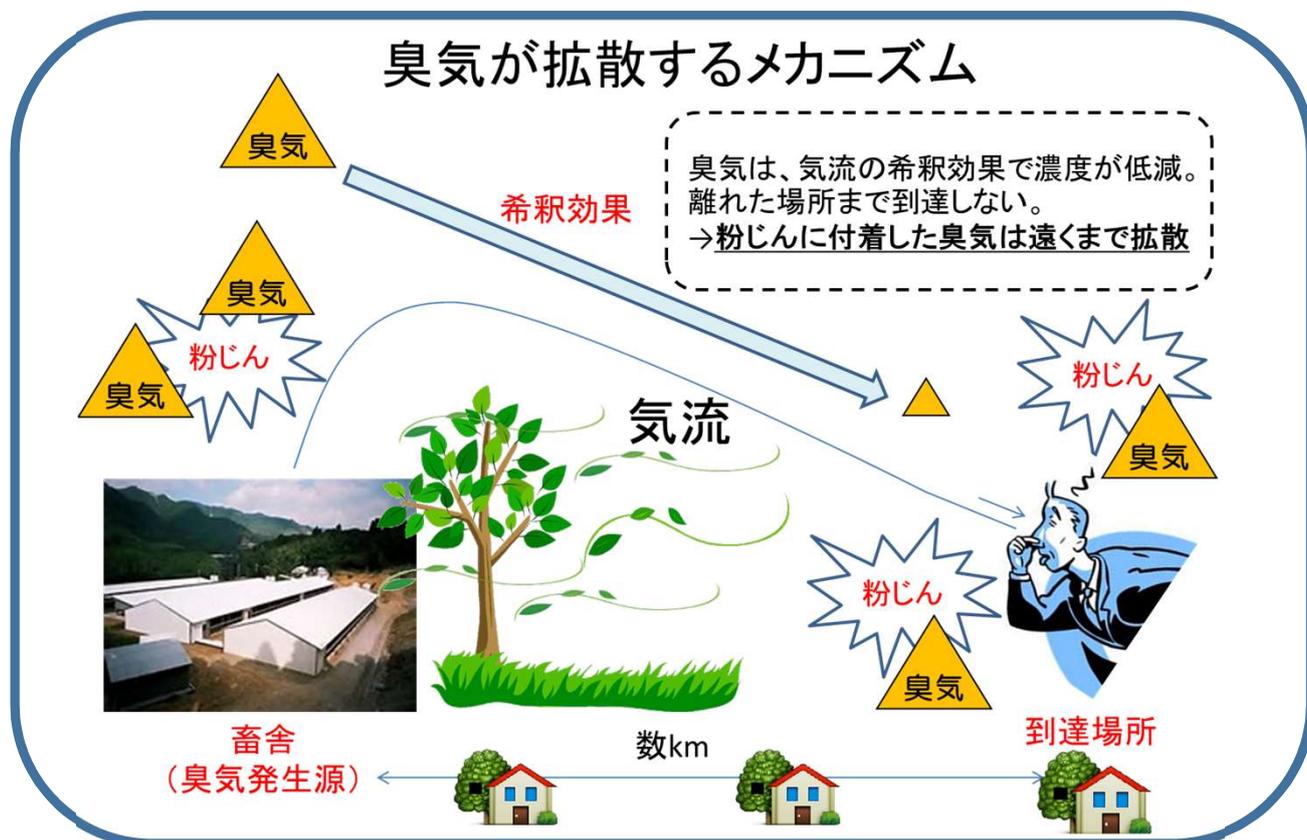


# 臭気対策は 畜舎から出る粉じん抑制が重要です

- 県内の畜産経営に起因する苦情の約8割が「**悪臭**」関連
- 畜舎の臭気の発生箇所を特定し、臭気の発生の多い所から重点的に対策しましょう  
基本対策として**ふん尿分離**や**こまめな清掃**を行うことが**大切**です
- 発生した臭気は粉じん（エサ、フケ、ふん等）に付着し遠方まで拡散することから、**粉じんの畜舎外への拡散を減らすことが重要**です
- 畜舎構造、飼養形態や立地状況等に応じて、複数の方法を組合せる必要があります



(神奈川県畜産技術センター 粉じん低減技術開発試験より)

## 畜舎における粉じん低減による臭気抑制の現地事例



対策	細霧
効果	開放畜舎内で間欠的に細霧を噴霧 →飼料給与時の畜舎外飛散粉じん 量20%減少
注意点	飼料給与時など粉じんの発生しやすいタイミングにあわせて使用



対策	臭気対策材＋細霧
効果	開放畜舎内で臭気対策資材を間欠的に散布→体感的に臭気を好ましいものと感じさせる効果
注意点	ランニングコストが高額なため、効率的な使用方法の検討が必要



対策	臭気分解メッシュ(※)によるしゃへい
効果	畜舎開口部をしゃへい→粉じん量20%、臭気指数(※※)相当値70%減少
注意点	強風時の破損防止対策が必要

(※)吸着した臭気成分を光触媒作用で分解する

(※※)人間の嗅覚によって、においの程度を数値化したもの



対策	しゃ光ネットによるしゃへい＋散水
効果	自然換気の換気口(セミモニター)に設置し、洗浄のため常時散水 →粉じん量35%減少
注意点	換気不足にならないように配慮して設置

試験事例の詳細については、畜産課HP(二次元コード)をご覧ください  
 たくか、下記までお問い合わせ下さい  
 畜産技術センター 環境グループ ☎046-238-4056(代表)



2023.5